

2019年3月5日

**ウィン・リゾーツ、日本での IR 開発に向けて日本事務所を設立
日本のパートナーとのより密な連携を目指す**

ウィン・リゾーツは、昨年 12 月に Wynn Resorts Development Japan 合同会社を設立しました。それに続き、2019 年夏に、東京丸の内に初の日本での事業拠点として、日本事務所を設立いたします。今回の法人と事務所設立により、日本の優良企業や地域と連携を強化し、日本独自の IR 開発・運営に向けて腰を据えて取り組んでまいります。

ウィン・リゾーツの CEO であるマット・マドックスは次のように述べています。

「私たちは、日本政府や各自治体が日本型 IR 開業にあたり、熟慮を重ねていることを認識しています。自治体からの要望に応じて情報を提供し、提案書を作成していくことは IR 事業者の重要な責務です。今回の日本法人とオフィス開設により、今まで以上に適切な情報提供が可能となると考えています。」

Wynn Resorts Development Japan 合同会社代表のクリス・ゴードンは次のように述べています。

「ウィン・リゾーツは、これまで米国本社において日本型 IR の開発・運営に携わる人員を増強してきました。今夏の日本オフィス開設を機に、日本における陣容を拡充し、自治体や企業様と連携を強化していければと考えております。私たちは、IR の設計、開発、運営において長年にわたるノウハウを有しており、日本のパートナーと協力することで、素晴らしい日本型 IR を作り上げることができると考えております。」

なお、日本事務所の住所は以下の通りとなります。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-2-3 丸の内二重橋ビル 21 階

以上

ウィン・リゾーツについて

ウィン・リゾーツ・リミテッドはナスダック・グローバル・セレクト・マーケットに「WYNN」のシンボルコードで上場しています。同社はまた S&P500 指数を構成している企業の 1 つです。ウィン・リゾーツは、ウィン&アンコール・ラスベガス (www.wynnlasvegas.com)、ウィン・マカオ (www.wynnmacau.com)、ウィン・パレス・コタイ (www.wynnpalace.com) を所有・経営しています。

ウィン&アンコール・ラスベガスは、2 つの高級ホテルタワーに合計 4,750 の客室、スイートおよびヴィラ、約 192,000 平方フィートの広さを持つカジノ・スペース、有名シェフによる 22 のレストランや 11 のバー、受賞歴ある 2 つのスパ、290,000 平方フィートの広さを持つ会議室、約 106,000 平方フィートの小売店舗スペース、2 つのショールーム、3 つのナイトクラブと 1 つのビーチクラブを備えています。世界に名だたる高級ブランド、コンテンポラリーブランド、ライフスタイルブランドがテンポを構える、ラスベガス・ストリップに面する高級小売店舗ウィン・プラザを開業しました。

ウィン・マカオは、中華人民共和国マカオ特別行政区にある高級ホテルとカジノリゾートで、2 つの高級ホテルタワーに合計 1,008 の広々とした客室とスイート、約 273,000 平方フィートの広さを持つカジノ・スペース、8 つのカジュアルおよび高級レストラン、約 31,000 平方フィートの会議室、約 59,000 平方フィートの小売店舗スペース、2 つの豪華なスパ、1 つのサロン、円型劇場を含むレクリエーションとレジャー施設を備えています。

ウィン・パレスはマカオにある豪華な統合型リゾートです。植物をテーマにしたリゾート施設で、合計 1,706 の優美な客室、スイートおよびヴィラ、約 420,000 平方フィートの広さをもつカジノ・スペース、飲食店 11 店舗、約 37,000 平方フィートの会議室、約 106,000 平方フィートのブランドショップ、8 エーカーの広さのパフォーマンス・レイクの上を渡るスカイキャブ、多くの稀少な美術品、1 つの贅沢なスパ、1 つのサロンを含むレクリエーション・レジャー施設を備えています。

現在、ウィン・リゾーツはエバレット市（米国のマサチューセッツ州）に、新たなリゾート施設「アンコール・ボストン・ハーバー」を建設しています。